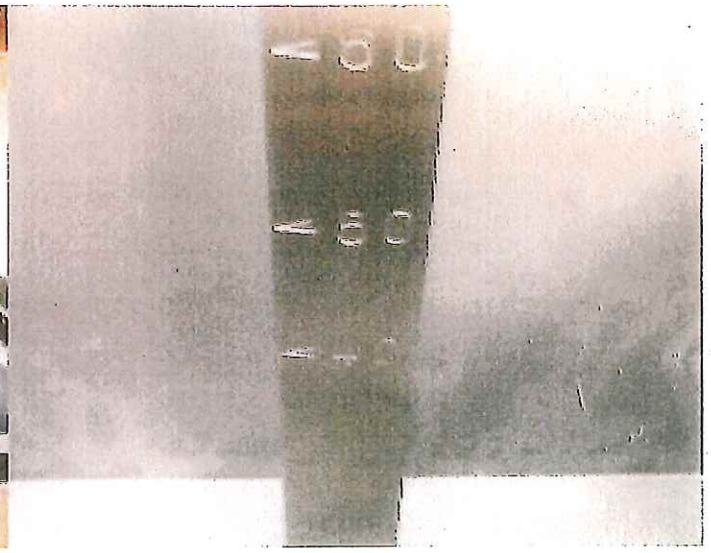
浄太郎Ⅷ　マニュアル

＜準　備＞

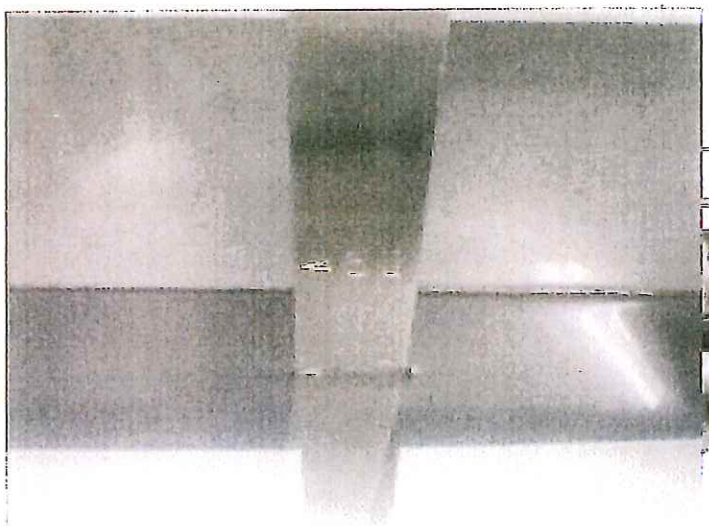
・Ⅷはアスファルト・コンクリートの切削水を
凝集させる為に専用の薬剤を使います

・水　１００：凝集剤　０．３の割合で攪拌した
液体を作ります　（１ヶ月　保管ＯＫ）

①薬液タンク（上部）の
フタを開ける



②タンク内　目盛り（ℓ）



③ ６０ℓの水を入れる

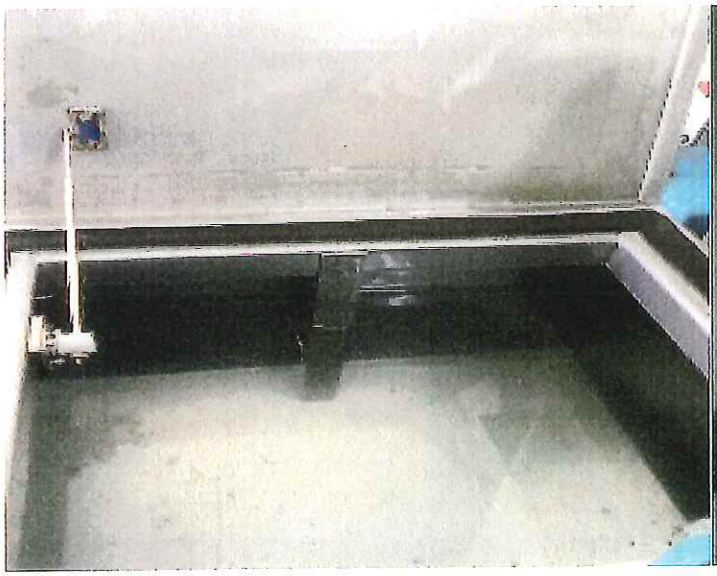
④ミキサー（付属品）を固定させる

⑤水道水　６０ℓ：凝集剤　１８０ｇ

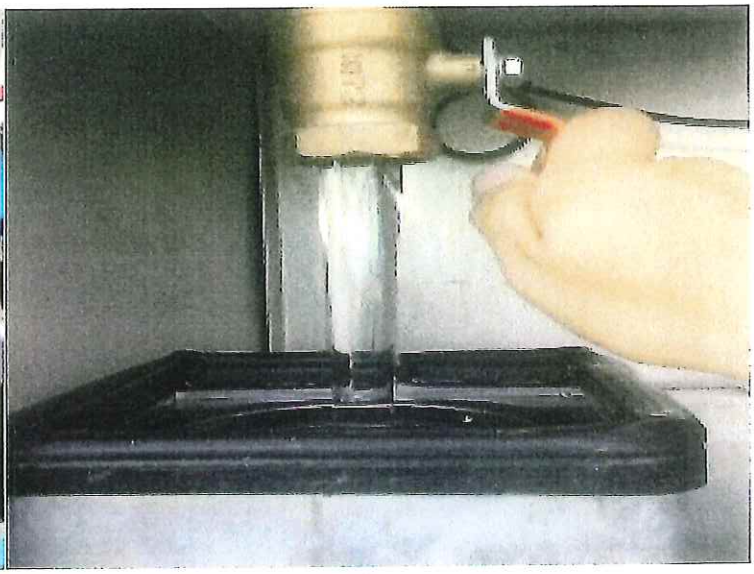
⑥ワンタッチ・ボタンでオート式

⑦必ず少量ずつ入れる！
（10 分位かけて）

⑧一気に入れるとダマに
なって攪拌できません



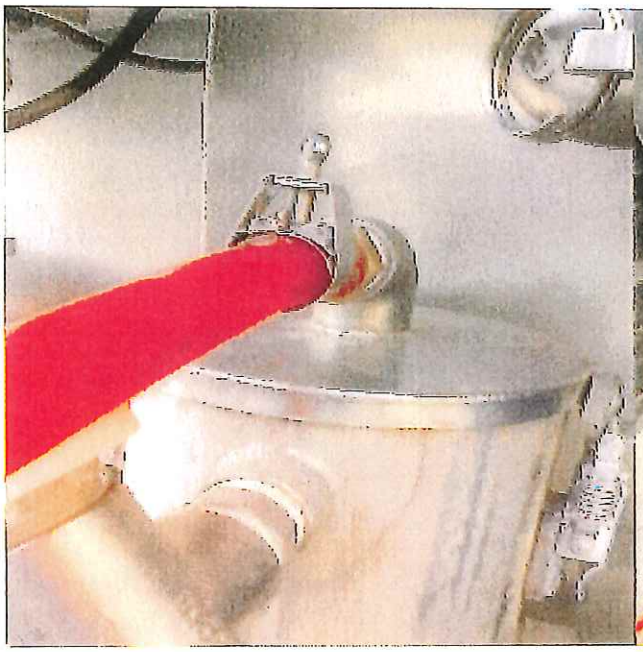
~~⑨残り１００ℓを給水して６０ℓにする~~
60ℓ
しばらく攪拌（４０分位）



⑩攪拌した液体を下のタンクに移す

＜使い方＞

※チューブポンプ方式のカッターを使って下さい

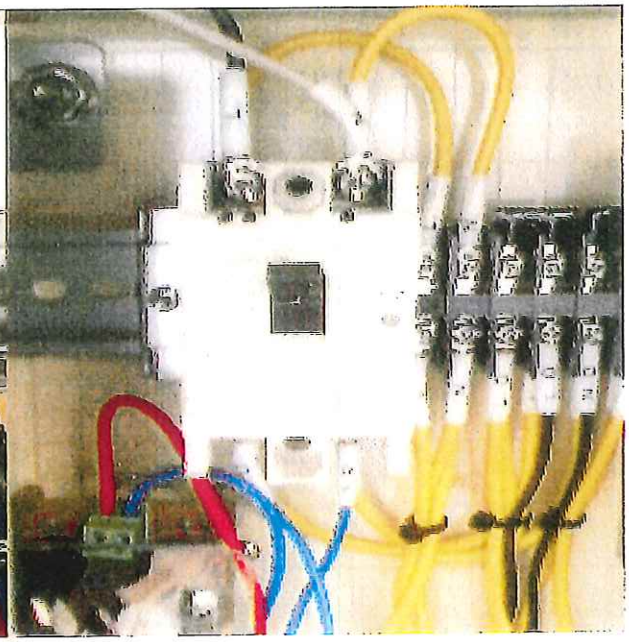


①排水ホースを接続
（ホースバンドで固定）

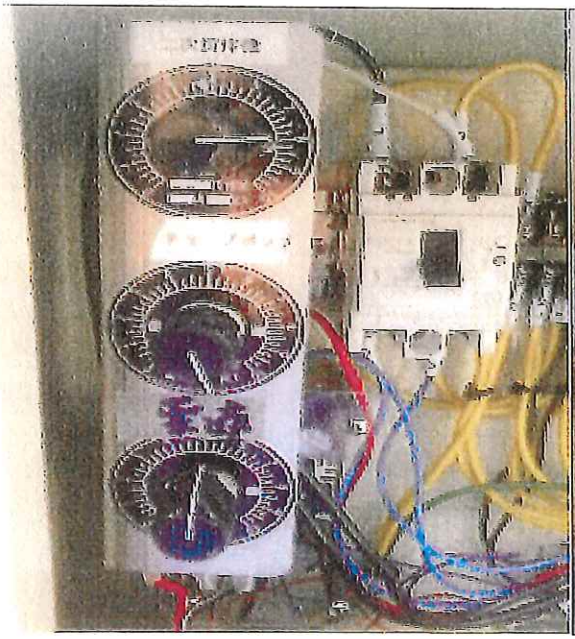
②清水ホースを接続

※ＡＣ１００Ｖの電源／１．５ＫＷクラスの発電機が必要

③水中ポンプの電源コード



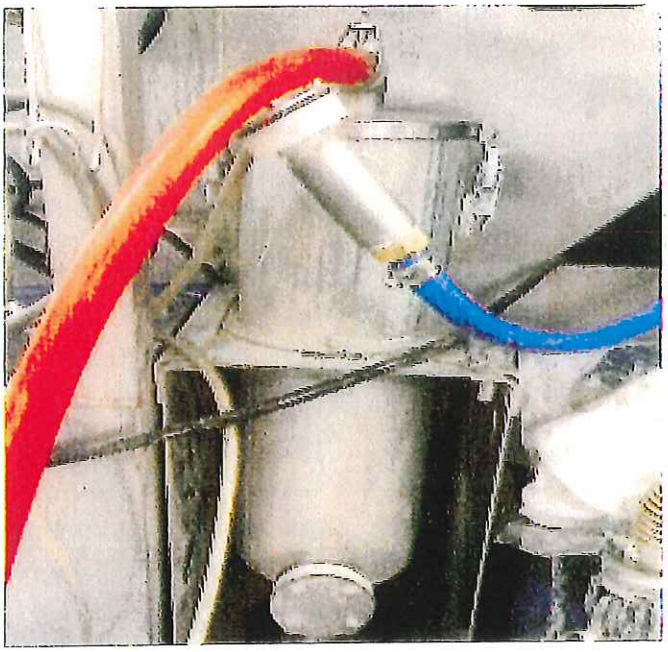
④制御盤の電源　ＯＮ



⑤制御盤　　ボリューム設定　　⑥手元スイッチ　「自動」

二　次　攪拌機	1～2
チューブポンプ	１０
薬　注　ポンプ	6～8

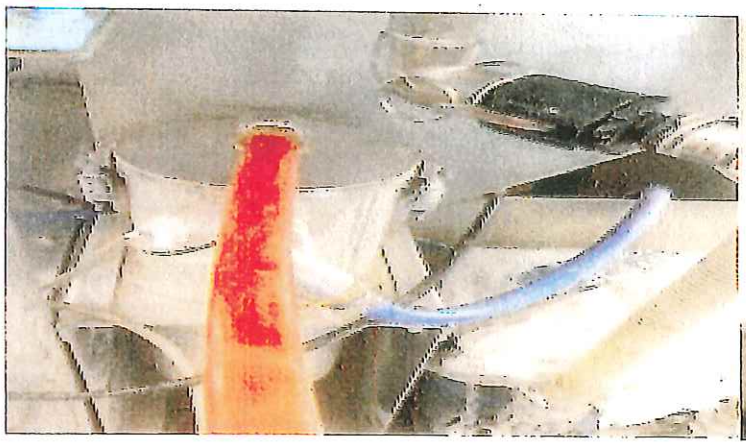
※カッター作業中に
ボリュームの調節を
する必要はありません

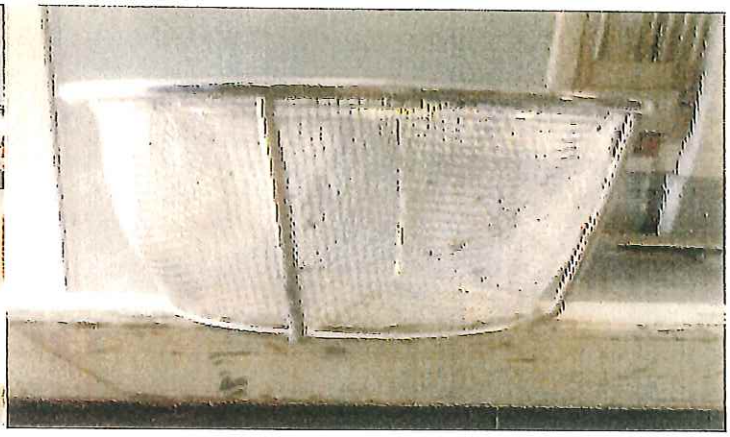


⑦前受け槽タンク　８ｃｍで　センサー感知　運転開始

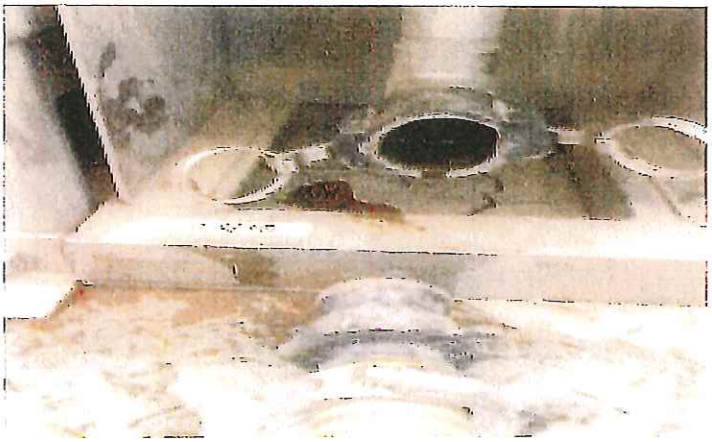
⑧始めは透明な液体が出てきます（運転開始後　３～５分位）

<そうじ>
（所要時間　２０分）

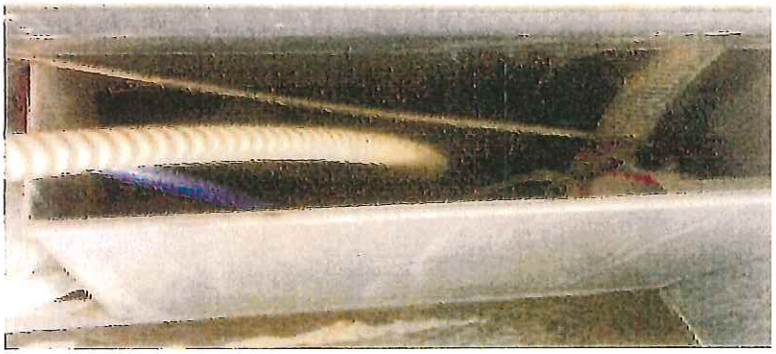




①前受け槽タンクに清水を送る（２～３分）②砂利かごをきれいにする

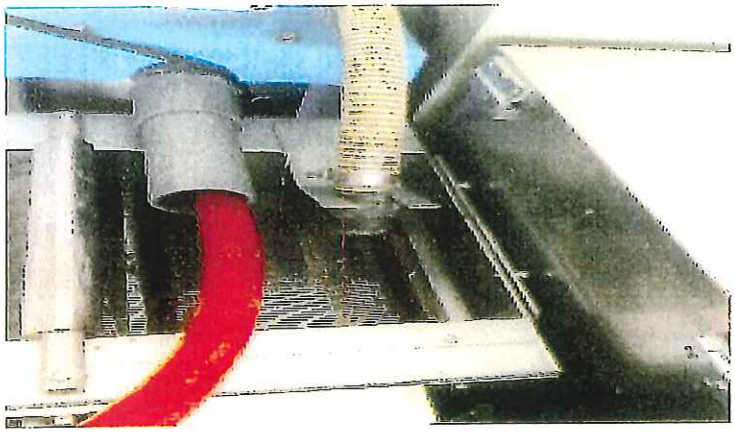


③前受け槽下部のホースを外す



④ホースをろ過タンクに入れて吸引

手元スイッチ　「手動」



⑤２次攪拌槽の排出口

（塩ビパイプ）から清水を送る

⑥ホースをフックに固定させて

汚泥を排出させる

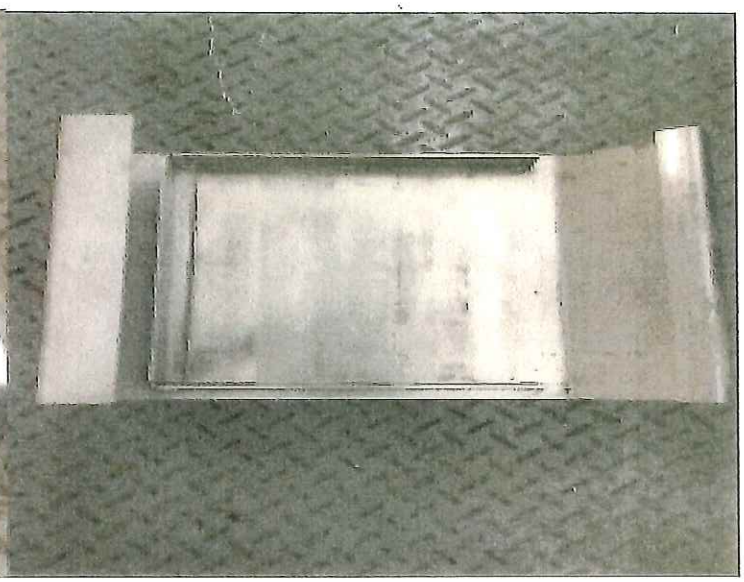
⑦手元スイッチ　「洗浄」

ホースから清水が出てくるまで

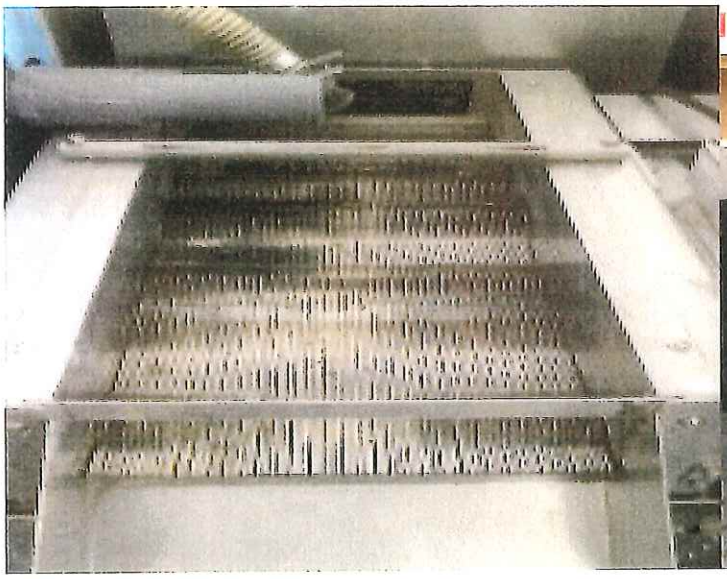
「洗浄」を続ける

＜洗浄箇所＞

おもり



圧搾板（ステンレスパネル）



スリットセーバー

フィルター

ろ過タンクの底に少し汚泥が残る

前受け槽ホースで「手動」吸引する

清水タンクに汚泥が入るのを防ぐ

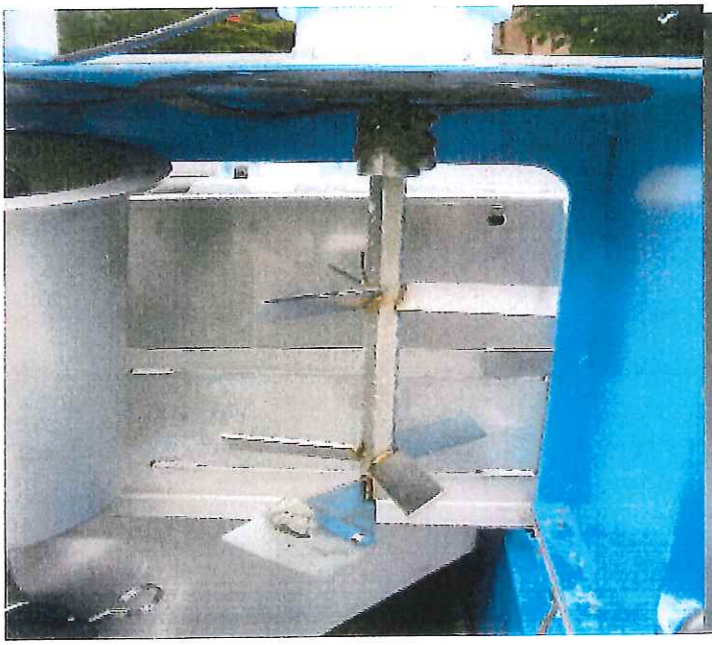
＜攪拌槽タンク　汚泥の残量確認＞

初期型のタンクはそうじ終了後も
かなりの量の汚泥が残っていました

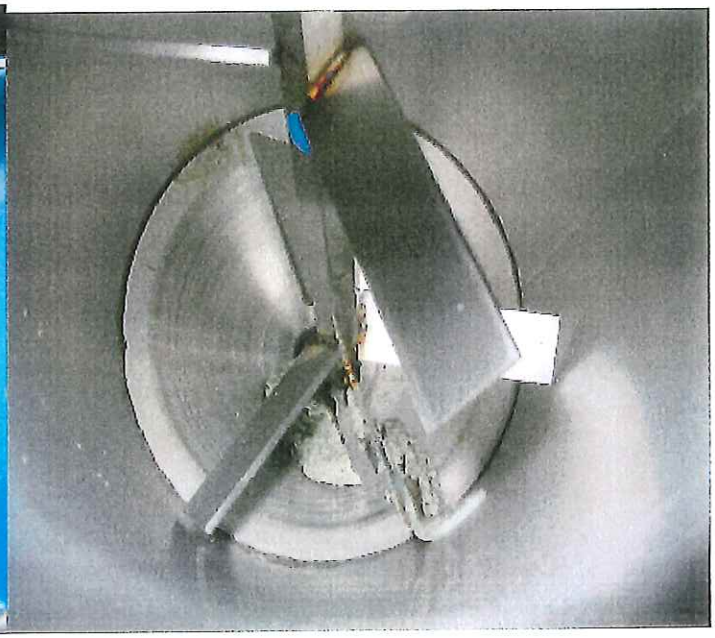
今回のデモ機は攪拌槽の改良をしています

通常のそうじで十分きれいになります

１次・２次攪拌槽タンク



１次攪拌槽内



２次攪拌槽内